

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	黒澤 清美	電 話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9106		事務事業名称	第1号被保険者還付加算金					短縮コード	経常		臨時	9106				
予算区分	会計	35	介護保険事業特別会計		款	06	諸支出金		項	01	償還金及び還付加算金			目	03	第1号被保険者還付加算金	
区 分	☐ 自治事務 ☐ 法定受託事務				根拠法令等		地方自治法第216条、地方税法第17条、介護保険法、介護保険法施行令、介護保険法施行規則、八千代市介護保険条例										
☒ その他																	
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																	
平成12年度介護保険制度が始まり，10月より介護保険料の賦課徴収が開始されたことにより，翌年度から事業実施。 前年以前の申告を修正した方の保険料が，減額となった場合などに発生する保険料過誤納額を還付する際に，還付加算金を付して還付する事業。																	
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして									
事業区分「その他」のため評価対象外						大項目（節）	03	社会保障									
						中 項 目	02	介護保険									
						小項目（施策）	02	保険財政の健全運営									
						細 項 目	01	財政運営の充実									
					実施計画の計画事業												
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～ 平成22年3月			計画事業費		千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	第1号被保険者のうち，前年度以前の保険料に超過納付があった者。								
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 実績なし。								
	※平成22年度に計画していること： 該当者へ加算金を付します。								
意図 （何を狙っているのか）	保険料過誤納額を還付する際に、還付加算金を付して還付するため。								
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外								
区 分					単位	20年度	21年度		22年度
						実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	事業区分「その他」のため評価対象外			なし				
	指標2								
	指標3								
活動指標	指標1	事業区分「その他」のため評価対象外			なし				
	指標2								
	指標3								
成果指標	指標1	事業区分「その他」のため評価対象外			なし				
	指標2								
	指標3								
上位成果指標	指標1								
	指標2								
	指標3								

コード		9106	事務事業名称	第 1 号被保険者還付加算金			所属名	長寿支援課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	1	0	1	
	主な事業費の内訳			第 1 号被保険者還付加算金	第 1 号被保険者還付加算金	第 1 号被保険者還付加算金	第1号被保険者還付加算金	
人件費 (B)			千円	12, 960	12, 678	422. 6	422. 6	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	12, 960	12, 679	422. 6	423. 6	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☐ 結び付いている	事業区分「その他」のため評価対象外				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☒ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	事業区分「その他」のため評価対象外				
			☐ 達成していない					
			☒ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	事業区分「その他」のため評価対象外				
☐ 可能性はない								
☒ 評価対象外事項								
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい	事業区分「その他」のため評価対象外					
		☐ 見直す必要がある						
		☒ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	事業区分「その他」のため評価対象外				
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☒ 可能性がない					
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等					
			☐ 臨時的任用職員等の活用					
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
			☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法		2		実施主体 (所管部署)	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
			☐ ない					

コード	9106	事務事業名称	第 1 号被保険者還付加算金				所属名	長寿支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			事業区分「その他」のため評価対象外			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			事業区分「その他」のため評価対象外	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
事業区分「その他」のため評価対象外									

所属長コメント	事業区分「その他」のため評価対象外の事業です。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			事業区分「その他」のため評価対象外					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									